

筑波大学東京キャンパスにて行われた、高校生ESDシンポジウムに参加しました。インドネシア・フィリピン・タイからの海外招聘4校と国内19校による大きな発表会でした。

午前中は、海外招聘校による口頭発表会と国内参加校によるポスターセッションが行われました。



本校からは、課題研究「捨てられた食べ物にも未来はあった」について発表しました。多くの方がポスター周囲に集まり、熱心に耳を傾けてくれました。約1時間、人が途切れることはほとんど無く、質問やアドバイスも頂くことができました。



午後は、他校によるポスターセッションと分科会でした。本校は、「貧困という難問について挑戦する」分科会に参加し、始めに話題提供として「日本の貧困」についての発表を行いました。



その後グループに分かれ、貧困の原因や解決策を探る活動を行いました。貧困の問題は、様々な要因が複雑に絡み合い、解決策を見出すことは容易ではありません。それでも各グループで意見を出し合い、分科会として「貧困を断ち切るためには教育を」という一策が提案されました。



最後に参加者全員で記念撮影

